

東京都板橋区

精神障がいにも対応した地域包括 ケアシステムの構築に向けた取り組み

板橋区では、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた「協議の場」として、医療関係者らを含めた「板橋区精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築検討会」を設置している。そのほか、定期的に「板橋区地域自立支援協議会」において進捗を報告するとともに、意見聴取を行っている。

1 県、指定都市、中核市、特別区の基礎情報

東京都板橋区



- ・東京23区の北西部に位置し、北は埼玉県、西は練馬区、東は北区、南は豊島区に隣接しています。
- ・面積は32.22平方キロメートルで、23区中9番目の広さです。

取組内容

- ・協議の場である「板橋区精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築検討会」の開催
- ・医療機関及び入院患者への退院促進支援 等

基本情報（都道府県等情報）

| | | |
|---|--------------------|----------|
| 障害保健福祉圏域数（R6年4月時点） | 1 | か所 |
| 市町村数（R6年4月時点） | 1 | 市町村 |
| 人口（R6年4月時点） | 574,768 | 人 |
| 精神科病院の数（R6年4月時点） | 8 | 病院 |
| 精神科病床数（R4年月時点） | 1,877 | 床 |
| 入院精神障害者数（R●年●月時点） | 合計 | 0 |
| | 3か月未満 | 人 |
| | (%：構成割合) | #DIV/0! |
| | 3か月以上1年未満 | 人 |
| | (%：構成割合) | #DIV/0! |
| | 1年以上 | 人 |
| | (%：構成割合) | #DIV/0! |
| | うち65歳未満 | 人 |
| | うち65歳以上 | 人 |
| 退院率（R●年●月時点） | 入院後3か月時点 | % |
| | 入院後6か月時点 | % |
| | 入院後1年時点 | % |
| 相談支援事業所数（R6年4月時点） | 基幹相談支援センター数 | 1 |
| | 一般相談支援事業所数 | 8 |
| | 特定相談支援事業所数 | 40 |
| 保健所数（R5年4月時点） | | 1 |
| (自立支援)協議会の開催頻度（R6年度） | (自立支援)協議会の開催頻度 | 3 |
| | 精神領域に関する議論を行う部会の有無 | 無 |
| 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況（R5年4月時点） | 都道府県 | 有・無 |
| | 障害保健福祉圏域 | 有・無 |
| | 市町村 | 有 |
| | | 1 / 1 |
| | | か所 |
| | | か所／障害圏域数 |
| | | か所／市町村数 |

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

板橋区障がい福祉計画（第7期）

（令和6年度～令和8年度）

- ・「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム」構築のため、令和2年度に設置された協議の場を活用した検討・整備事業

板橋区障がい者計画2030

（令和6年度～令和8年度）

- ・「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの検討・整備」を、引き続き計画の事業目標のひとつとした。
 - ⇒ ①医療、②障がい福祉・介護、③住まい、④社会参加（就労）、⑤地域の助け合い・教育（普及啓発）、⑥保健・予防の6分野に分けて検討することとし、構築にあたっては、保健・福祉・医療関係者による協議の場を活用し、地域課題の検証を行っている。

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

令和3年度

- ・各分野ごとの課題を、行政・医療機関・障がい福祉サービス事業所へヒアリング。
- ・①医療、②障がい福祉・介護の分野について検討。
 - ⇒ 精神科医療機関への入院患者が地域生活へ移行するきっかけ作りや、医療機関のスタッフに「地域移行支援」サービスの周知が必要であるとの意見が多く出たため、入院患者向けの退院支援チラシ、関係者向けの退院支援リーフレットを作成することとした。

令和4年度

- ・①医療、②障がい福祉・介護の分野について検討。
 - ⇒ 入院患者向けの退院支援チラシ、関係者向けの退院支援リーフレットを作成し、検討会で協議を重ね、完成。区内の精神科医療機関を訪問するなどして、配布した。
- ・③住まいの分野について検討。
 - ⇒ 板橋区内で精神障がい者向けに支援を行っている居住支援法人に参加してもらい、支援内容の紹介、住まい探しにおける課題や現状を医療関係者等と相互に共有した。

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

令和5年度

- ・国の「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築支援事業」に参加。協議の場として、準備会を2回行った後、より規模の小さいコアミーティング3回、本会を1回開催。
- ・人材育成の課題について検討。
 - ⇒ 福祉部門の職員が、精神疾患や精神科医療機関の入院形態・要件等を知る機会がほとんどないまま現場で業務を行なっている。知る機会を提供し、また保健部門の区職員と認識を合わせておくことで、連携しやすくなる。
 - ⇒ 区の職員研修として、区内の精神病院の看護師を講師に招いて、「精神障がい者の適切な支援」について講義していただいた。

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

<令和5年度までの成果・効果>

| 課題解決の達成度を測る指標 | 目標値 (R5年度当初) | 実績値 (R5年度末) | 具体的な成果・効果 |
|----------------------------------|-----------------|----------------|-----------------------------------|
| 協議の場の開催回数(準備会2回、コアミーティング3回、本会1回) | 3回 | 6回 | ・課題の抽出 ・精神障がい者を支援する区職員向けに研修を開催 |

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴(強み)】

- ・区内に、精神科病床を持つ医療機関が8か所ある。
(うち3か所が検討会に参加しており、入院患者の地域移行への取り組みで協力を得られる。)

| 課題 | 課題解決に向けた取組方針 | 課題・方針に対する役割(取組) | |
|----|--------------|---------------------------|--|
| | | 入院患者の地域移行支援、再入院の予防、入居の問題等 | 福祉・保健の各部門での地域会議・事業・個別ケース会議等のネタをコアミーティングで共有し、多くの視点から方向性を検討する。 |
| | | 医療 | 関係機関との連携 |
| | | 福祉 | 関係機関との連携 |
| | | その他関係機関・住民等 | 協議の場への参加 |
| | | 行政 | |
| | | 医療 | |
| | | 福祉 | |
| | | その他関係機関・住民等 | |

| 課題解決の達成度を測る指標 | 現状値 (今年度当初) | 目標値 (令和6年度末) | 見込んでいる成果・効果 |
|---------------|----------------|-----------------|--------------------------|
| ①協議の場の開催 | — | 3回 | 関係者同士の繋がりを作り、地域課題の共有を図る。 |
| ② | | | |

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための連携状況

【にも包括構築の体制】

障がい政策課と健康推進課(保健所)が協働し、精神科医療機関、障がい福祉サービス事業所、基幹相談支援センター、精神保健・障がい福祉関係部署によって構成される検討会を設置しており、検討テーマに応じて出席者を適宜調整している。

進捗状況や検討内容については、板橋区地域自立支援協議会において定期的に報告。

| 所管部署名 | 所管部署における主な業務 | 連携部署名 | 連携部署における主な業務 |
|------------|--|------------|--------------------------------------|
| 障がい政策課 | 障がい計画関係、自立支援協議会運営、就労支援施策関係、ユニバーサルデザインの促進事業所指定、施設管理、認定給付事務、事業所の指導 | 障がいサービス課 | 手当や助成事務、虐待相談、障がい児支援、障がいサービス給付、地域生活支援 |
| 健康推進課(保健所) | 精神保健関係、難病支援関係、公害関係、予防接種関係 | 健康福祉センター | 母子保健関係、健康相談、医療費助成 |
| | | 福祉課(福祉事務所) | 生活相談、生活保護、障がい者支援 |

| 各部門の連携状況 | | 強み・課題等 |
|-------------|---|--|
| 保健 | 5か所の健康福祉センター間の精神保健分野の情報共有、連携を推進するため、定期的な連絡会を開催しており、にも包括についても共有している。 | 直接対人支援を行う部署であるため、にも包括の課題について理解が得られやすい。 |
| 医療 | 「板橋区精神科医療機関間情報交換会(事務局は健康推進課、年1回開催)」における、にも包括取り組みの報告等 | R4年度、区内精神科医療機関が9つ参加した。 |
| 福祉 | 地域移行支援を行っている相談支援事業所を集めた「地域移行連絡会」における、にも包括取り組みの報告等 | 需要に対し、事業所の受け入れ枠が足りない。 |
| その他関係機関・住民等 | | |

7 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

| 名称 | 協議の場の構成員 | 開催頻度 | 実施内容 | 特記事項等(課題・強み等) |
|------------------------------------|---|--------|------------------------------------|--|
| 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築検討会コアミーティング | 行政担当者、基幹相談支援センター、広域アドバイザー | 2～3回／年 | 規模の小さい検討会として、闊達な意見交換ができるコアミーティング行う | |
| 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築検討会 | 行政担当者、基幹相談支援センター、東京都、地域移行コーディネーター、医療機関、障がい福祉サービス事業所、広域アドバイザー等 | 1～2回／年 | 協議の場として、課題や情報の共有や、意見聴取を行う | <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関が3か所参加している。 ・参加メンバーを、検討課題に応じて適宜調整している。 |
| | | | | |

【その他事項】 ※協議の場運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載ください
 <昨年度まで>ケアシステム構築の方向性が定まらない。(ケアシステムの完成イメージが漠然としていて、具体的にどんな取り組みを進めていけば良いか、毎回非常に頭を悩ませている。)

⇒社会の複雑なしくみによるストレス増加で精神障がい患者は増加傾向にある。退院させることももちろんだが入院・再入院させない予防的な観点も必要。また、その時の状況・課題に合わせた支援方法をその都度考えられる体制にしておくことが大事。そのため、にも包括ケアシステムでは完成や着地点を目指すわけではなく、ミーティングの場を設け、情報交換・共有しておくことが必要と考える。

8 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けたスケジュール（長期）

事業利用予定年数：令和 年度まで（未定）

| | |
|------|--|
| 長期目標 | 「にも包括検討会」を情報共有と地域づくりを進める作戦会議の場として活用し、できることから始めていく。 |
|------|--|

| 年度 | 実施内容 | 具体的な取組 |
|------|---|--|
| R6年度 |  <p>にも包括構築検討会の開催（コアミーティング数回、本会1～2回）</p> | <p>各部門で実施している会議や事業を共有し、多くの視点から方向性を検討する機会とし、各会議や事業に活かす。</p> |
| R7年度 | | |
| R8年度 | | |
| R●年度 | | |

9 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けたスケジュール（今年度）

| 短期目標 (今年度) | にも包括構築検討会の実施(コア会議3回、本会1回) | |
|---------------|----------------------------------|--|
| スモール ステップ | 区職員向け研修の実施、地域移行支援リーフレット・チラシの見直し。 | |
| 時期(月) | 実施内容 | 具体的な取組 |
| R6年7月 | コアミーティング | 各部門で昨年度の取組の振り返りと今年度の取組を共有。 ⇒昨年の事業で好評だった、区職員研修「精神障がい者の地域 支援」を今年度も開催することにした。地域移行支援のリーフレット・チラシについて、区内医療機関から内容等についてのアンケート調査を行い、見直しを進めていく。 |
| R6年11月 | コアミーティング | 各部門の今年度の取組状況を共有。 |
| R6年12月 | 区職員研修 | 精神障がい者の支援について、ケースワーカーや保健師等を対象に研修を実施予定。 |
| R7年2月 | コアミーティング | 各部門の今年度の取組状況を共有。本会に向けて議題の整理。 |
| R7年3月 | 検討会本会 | コアミーティングのメンバーに、区内医療機関、地域移行コーディネーター、地域移行事業所等を加え、各部門での今年度の取組状況を共有し、課題やアドバイス等の意見を出し合い、次年度に繋げていく。 |